

同窓生シリーズ

17



森 佑子氏
昭和30年卒業。旧姓岩橋、昭和34年日本女子大学生生活芸術学科住居専攻卒業。同年柳井建築設備研究所入社、給排水衛生、空調並びに厨房設計業務に従事、昭和45年同社退社後森厨房設計室開設。他日本厨房機器工業会各委員、講師。日本ホテルスクール講師等。主たる厨房関係の設計活動は東京デイズニールランド料飲29施設、第一ホテル東京他121施設。執筆、「建築設計資料集第六巻」他

おそらく日本では最初
の厨房専門設計事務所を
開設され、長くご活躍中
の森佑子さんに、お話を
伺いました。

高校ではバスケット部

私が在学中の頃は有名
な進学校で、多くの方が
国公立大を目指していま
した。中学から続けてき
たバスケット部に、勢い
よく入ってしまったもの
です。勉強は進むもの
に練習に時間は取られる
し、帰宅すれば眠いし、
もう大変でした。部屋は
一室で、男女が交替で使
い、体育館は床がぬけて
ケガをする、といったこ
ともありました。それで

も三年の夏までバスケッ
トをやり、その後、受験
勉強にやつと入りました。
絵や図面を画くのが好
きだった私は、大学で学
んだ住宅設計が生かせる
設備設計の事務所に就職
し、設備の一部にあたる
厨房を主に担当しました。

業務用厨房の道へ

この「厨房」は業務用
つまり、ホテル、レスト
ラン、病院、学校給食等
のキッチンをいいます。
一度にたくさん作り、不
特定多数の人に出すので、
法的な規制があり、それ
らをクリアしながら、使
い易さ、衛生面、掃除の
し易さ、働く人の安全を

三年の夏までバスケッ
トをやり、その後、受験
勉強にやつと入りました。
絵や図面を画くのが好
きだった私は、大学で学
んだ住宅設計が生かせる
設備設計の事務所に就職
し、設備の一部にあたる
厨房を主に担当しました。
前後半年で仕事に戻りま
した。

業務用厨房の道へ

ちようどその頃に、国
内初の1000室のホテ
ルを二つ手がけることに
なりました。初めてのこ
となので、計画する方々
が海外を見て廻り、アメ
リカには、厨房設計専門
の事務所があることを教
えてくれました。
昭和四十五年に退社し

考えて作りま
す。
厨房の専門
になって、ほ
ぼ十年の間に
結婚し子ども
もできました
が、仕事は続
いていきたいと思いまし
た。上の子の時は育児休
業制度がない頃でしたが、
自ら一年の休みをもらっ
て、職場復帰しました。

今までしてきた仕事の
中で、一番大きいものは
東京デイズニールランドの
29施設でした。アメリカ
の基本設計はあるのです
が、厨房に限らず、全て
を日本の基準に合わせて
直さなければなりません
でした。例えば、食事の
量にしても、アメリカ人
の八割位ですから、分量
もそのように変える訳で
す。現地が埋立て、砂埃
の頃は、神田で図面を画
いていけばよかつたので
すが、浦安に行くように
なつてからは、往復1時

業務用厨房の道へ

初めは自宅で、現在は渋谷で、四人のメンバーと
仕事をしていきます。家庭
を持つ女性も働き易いよ
うにフレックス・タイム
制を取り入れました。若
い方も状況がゆるす限り
続けてほしいと思ってい
ます。

受験といえ、今の子
ども達は、自分の好きな
ところを受けるのではな
く、受かりそうなところ
を受けている気がします。
就職にしても、今は、か
なり意志表示ができる時
代になっているのに「何
がやりたいの？」と尋ね
ても「何するんですか」
という答えが返つてきま
す。方向が決まっていな
い訳です。高校生ぐらい
で、自分のやりたいこと
が、少なくとも、あつち
なのか、こつちなのか、
らしいは選んでほしいと思
います。

業務用厨房の道へ

間かけて二年間通いまし
ました。工事中も現場の監理
がありました。
その頃子ども達は、大
学受験と中学生でした。
後で二人から「僕が受験
勉強の最中、お母さんは
デイズニールランド、デ
イズニールランド」「私の中
学三年間は、浦安にばか
り通つていた」と言われ
ました。

仕事を続けて
専業主婦を一度も経験
しない私の「子育て」は、
小さい時はスキンシップ
を大切に、保育園の登園
もバスを使わずに、手
つないで話を聞きながら
歩きました。私が迎えに
行けなかつた時は、夜に
話を聞きました。小学生
ぐらいの時は「子どもは
親を選べないのよ」と開
き直っていましたね。い
ろいろ不満や反撥もあり
ましたが、息子は職業を
持つている人を妻に選び
ましたし、娘も仕事を自
分のものにしてしようとい
う意欲に燃えている姿を見
ていると、私が仕事を続
けてきたことが、無意味
ではなかつたと思ってい
ます。

業務用厨房の道へ

スケールの大きいお
話を伺い、楽しいひとと
話をしていただきました。